



校長だより

日中丸



第12号
R1. 7. 12

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さんが作成

遠泳大会 7.10(水)

東浜海水浴場で遠泳大会を行いました。予定されていた9日(火)が天候不良のため、10日(水)の開催となりました。一人一人が1000mの完泳など目標をもって取り組みました。風もありベストコンディションとはいきませんでした。歯を食いしばって挑戦する姿は感動的でした。今年、21名の生徒が、見事、完泳しました。途中リタイアしてしまった生徒も、ぎりぎりまでがんばりました。すてきな姿をたくさん見ることができた一日でした。

ご協力およびご声援をいただきました皆様、ありがとうございました。



「ぎおん祭り」に向けて

13日(土)に「ぎおん祭り」が行われます。その場で本校の生徒が和太鼓の演奏を行います。6月末から、生徒からの申し出により、和太鼓の朝練習を行っています。生徒による自主的な取り組みですが、火・木曜日は3年生、水・金曜日は1・2年生が練習に取り組んでいます。島の行事を盛り上げたいという思いから始まった朝練習です。その思いが伝わることを願っています。



朝会より 7.8(月)

生徒発表 (7月のテーマ: 部活動について)

鈴木莉央奈さん (1年)

私はスポーツを楽しむだけでなく、先輩や後輩の関係を深めたり社会に出た時の人づきあいを学んだりするのが部活動だと思います。

仮入部の時は、まず、守らなければいけないルールを教えてくださいました。それから、練習方法をていねいに教えてくださいました。はじめはまったく分からなかったけれど、だんだん分かるようになりました。3年生は、練習のメニューを考えつつ、指示を出したり自分たちの練習ができていたりして、すごいと思います。2年生も、アドバイスをしてくれたり気づいたことを教えてくれたりします。私は、3年生や2年生のようなことができないので、すごくあこがれます。このことはバスケ部だけでなく、バレー部や卓球部も同じようになっていると思います。

7月の郡大会が終わったら、一緒に部活動ができなくなってしまいます。だから、3年生と部活動ができる時は、まねできる場所はまねしたいです。3年生に、1年生と練習できてよかったと思ってもらいたいです。

久田子寧さん (2年)

どの部も、もうすぐ郡大会があると思います。3年生はそれが終わったら引退して、私たち2年生は部の中心になると思います。そのために、残りの数週間、3年生からたくさんのことを学び、新チームに受けついでいきたいです。

特に、声を出すことがチームの雰囲気をよくするためにも大切だと思います。新チームは人数が多いので、今までにできなかった練習メニューができると思うので、その時にも積極的に声を出していきたいと思います。

そして、難しいかもしれないけれど、1勝を目標にしたいです。また、それができなくても、試合ごとに目標を立ててやっていきたいです。

お世話になった3年生に感謝の気持ちを伝え、新チームでもがんばっていきたいです。

杉浦俊平先生の話

こんな話をしてくれました。

あと2週間で1学期が終わりますね。夏休みに入るとすぐに部活動では郡大会があります。郡大会は3年生にとっては最後の、1、2年生にとっては3年生といっしょにできる最後の大会ですよ。先生も、みなさんと同じ中学生のときには郡大会を経験してきました。今日は先生の最後の郡大会の話をしたいと思います。

先生は中学生の時に野球部に所属していました。当時、野球部には1学年あたり30人近い部員がいました。しかし、郡大会のベンチに入れるメンバーは20人だったので、10人近い3年生は最後の郡大会にベンチにすら入ることが出来ませんでした。残念ながらベンチ入りできなかった3年生は郡大会直前に引退試合をしていました。その試合では、普段レギュラーとして試合に出ているメンバーが応援をしたりグラウンドを整備したり、裏方の仕事に徹します。先生はそうやって応援する中で、外れてしまった仲間の分まで絶対に勝ち上がってやろうという気持ちになりました。けれど、結果を見てみると2回戦で負けてしまいました。先生も試合に出ていたのですが、バッターとして打席に立っているときも、守備で守っているときも、とても緊張してしまって足の震えが止まりませんでした。そのせいもあっていつも通りのプレーが全く出来なかったことを今でも覚えています。あのときもう少し落ち着いてプレーが出来ていたら勝てたのかなとか、もう少し友達と会話をしていたら緊張が和らいでいたのかなと振り返ると後悔ばかりです。

後悔をなくすことは難しいことだと思いますが、後悔を減らすことは可能だと思います。みなさんにはこれからの人生の中でたくさんの選択の機会が訪れると思います。その中で後悔をしないためにはどうしたら良いのだろうかを考えて行動して行ってほしいなと思います。



校長の話

こんな話をしました。

今週の土曜日に「ぎおん祭り」が行われます。その中で君たちは和太鼓の演奏をします。また、8月12日には、「たこ祭り」が行われ、そこでも和太鼓の演奏をします。そのために、1・2年生も、3年生も、朝、自主的に練習に取り組んできました。その成果を発揮できるといいですね。

さて、「ぎおん祭り」は君たちも知っている通り、約250年の歴史をもつ海の供養祭です。「ほうろく祭り」とも言われ、松明を積んだ素焼きのほうろくに火をつけ、海に流します。また、「たこ祭り」は、たこ供養を主とした祭りです。どちらも、海の恵みに感謝し、大漁を祈願するとともに、島民の幸せを願うお祭りです。そんな「ぎおん祭り」や「たこ祭り」に花を添えるために中学生が太鼓をたたき、盛り上げてきました。太鼓だけでなく、ちょうちん行列に参加したり小学生のころには御神楽に取り組んだり、いろいろな形で盛り上げてきました。伝統のある、そして、島の大切な行事に参加できることは幸せなことだと思います。島の大切な行事を盛り上げるため、今、自分のできることを考え、行動してくれることを願っています。まずは、「ぎおん祭り」です。「島の元気は日中から」です。日中生の迫力ある和太鼓を披露しましょう。